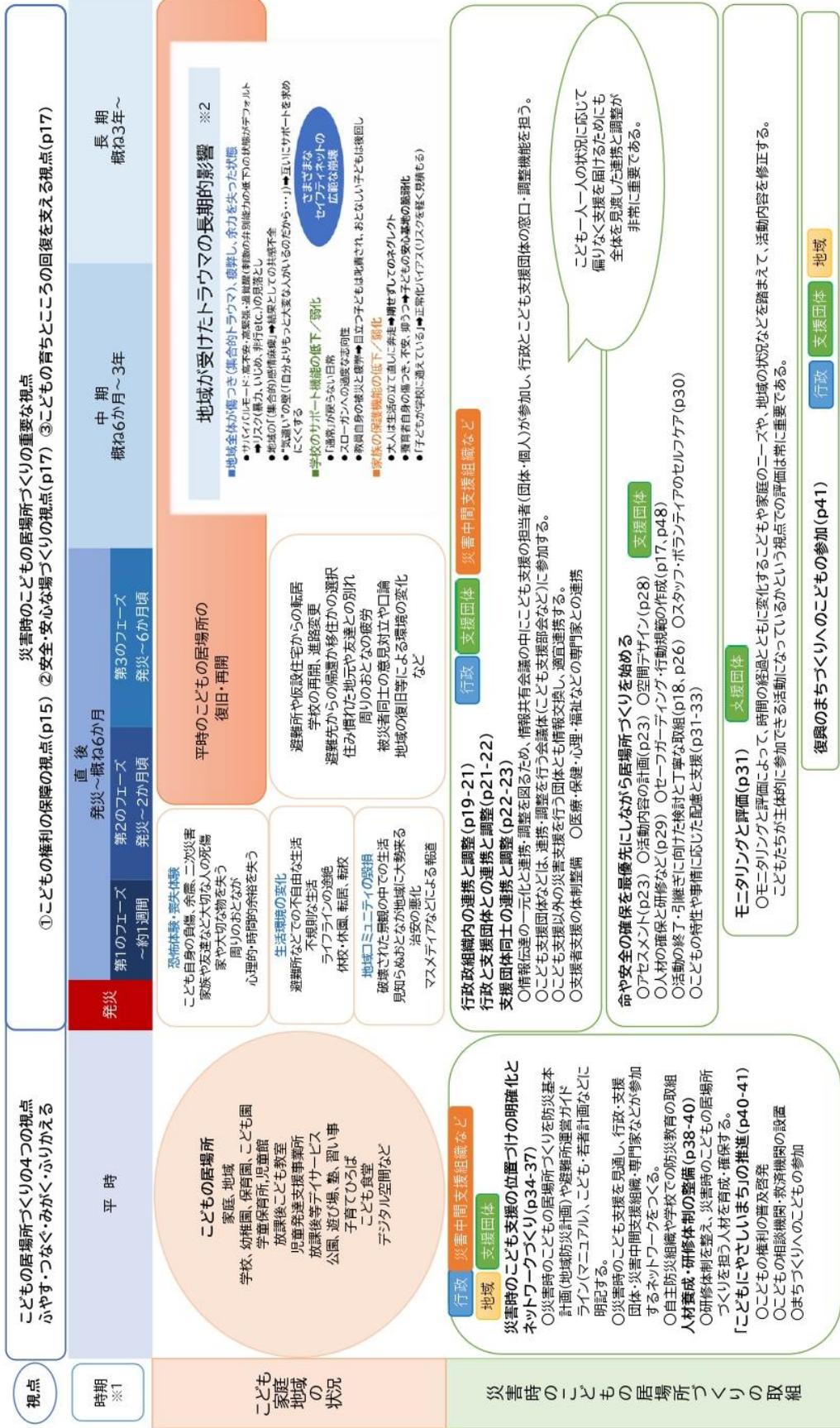


災害時のこどもの居場所づくりロードマップ

〈付 録〉 災害時のこどもの居場所づくりロードマップ

「災害時のこどもの居場所」とは、自然災害や事故などの緊急事態において、避難所や被災地域または避難した先で設置、運営される、こどもが安全に、安心して過ごすことができる場所です。



※ 1 発災後の時期区分については、専門とする領域、支援の内容や目的などから様々なものがある。災害種別、規模、地理的条件などによって、こどもを取巻く環境やインフラの復旧のスピードは大きく異なるため、実際には時間を基準に一律に時期区分することは難しい。本手引きロードマップでは、居場所づくりの観点から発災後の時期を三つに区分した。ただし、ここで記す「発災直後」「中期」「長期」どの区分に該当するかは、災害の規模や被災状況などによって異なることに注意する。

※ 2 出典) 東洋大学福祉社会開発センター公開セミナー資料「八木淳子「災害と子ども」の居場所 - 東日本大震災後のこどものこころのケアからの発言 -」(2024)から引用